

## 第12期Bコース（カナダ・ブリティッシュコロンビア州）帰国レポート

令和6年8月に日本を出発し、カナダのブリティッシュコロンビア州で留學生活を送っていた第12期Bコース研修生19名は、約10か月間の留學生活を終え、令和7年6月29日（日）、無事に日本へ帰国しました。



＜会場に集合する研修生＞

6月26日（木）、研修生たちはそれぞれお世話になったホストファミリーのもとを離れ、帰国前に実施される特別プログラムの会場であるブリティッシュコロンビア大学に集合しました。バンクーバー島各地等からフェリーや専用車を利用して集まり、久しぶりに再会した仲間同士で声を掛け合いながら、大学寮へと移動しました。大学構内では、広大なキャンパスと充実した教育・研究環境に触れながら、2日間にわたる特別プログラムに臨みました。

### □ 特別プログラム 第1日

特別プログラム初日は、自己紹介から始まり、アイスブレイクやチームビルディング活動を通して、研修生同士の交流を深めました。限られた条件の中で協力して課題に取り組む活動では、意見を出し合いながら試行錯誤する姿が見られました。



＜研修中の研修生＞

その後、留學生活の振り返り活動を行い、それぞれの経験や学びをグループ内で共有し、全体で整理しました。異なる地域で生活してきた研修生同士が、それぞれの体験を持ち寄ることで、留學の意義や成果を多角的に捉える機会となりました。

また、「自分への手紙」では、留學前に設定した目標を振り返りながら、現在の自分の成長や今後の課題について考えました。過去と現在を比較し、自身の変化を実感する時間となりました。

夜には、翌日の成果発表に向けた準備を行い、各自がこれまでの経験をどのように表現するかを真剣に考えていました。

### □ 特別プログラム 第2日

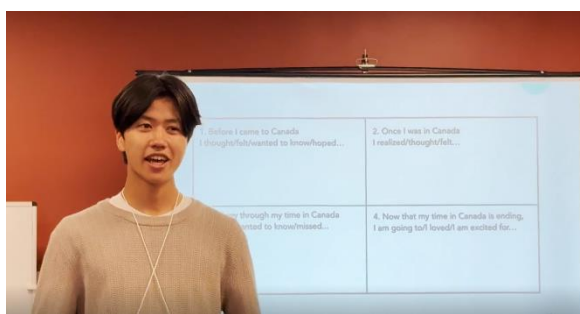
2日目は、ブリティッシュコロンビア大学の学生との「リーダーシップサミット」から始まりました。大学生との意見交換を通して、リーダーシップの在り方や大学での学びについて具体的な話を聞き、研修生は自らの将来像をより明確にすることがで

きました。続いて行われたキャンパスツアーでは、講義棟や研究施設、図書館などを見学し、大学における学びの環境を実際に体感しました。さらに、大学構内見学したことで、より高度な学びへの関心を高めました。

午後には、研修生一人一人が、留学生生活を振り返り、英語でプレゼンテーションを行いました。それぞれが自分の経験を自分の言葉で伝えようとする姿から、10か月間の成長が強く感じられました。夜には、現地機関が作成したスライドショーを鑑賞し、写真や映像を通して留学生生活を振り返りました。思い出を共有しながら、充実した時間を過ごしました。



<キャンパスツアー中の研修生>



<留学生活についての発表を行う研修生>

## □ 帰国及び解団式

6月28日（土）、研修生は大学寮を出発し、バンクーバー空港へ向かい、長時間のフライトを経て、翌日成田空港に到着しました。

到着後、ターンテーブル付近において解団式が実施されました。解団式では、東京都教職員研修センターの職員から、留学期間を振り返るとともに、今後の生活や進路に向けた話がありました。「帰宅するまでが留学である」という言葉とともに、最後まで気を引き締めて行動することの大切さが伝えられました。

カナダ・ブリティッシュコロンビア州での約10か月間の留学生活を通して、研修生は語学力の向上だけでなく、多様な価値観を理解し、自ら考え行動する力を身に付けました。日本と異なる環境での生活の中で、困難に直面しながらもそれを乗り越えた経験は、今後の人生において大きな財産となるでしょう。

今回の特別プログラムは、留学生生活を振り返り、自らの成長を言語化し、次のステップへとつなげる重要な機会となりました。研修生一人一人が、この経験を基に更に成長し、将来それぞれの分野で活躍していくことを期待しています。



<解団式>